

令和3年度 連携研究スキームによる研究（政策研連携研究課題）
研究成果等概要報告書

研究テーマ名	ポスト新型コロナウイルス時代における食料安全保障のあり方に関する研究のうち「食料の安定的な確保のための国際市場に関する研究」
政策研連携研究課題名	安定的な穀物等の調達に向けた企業行動と国際需給に関する研究
研究実施期間（西暦）	2020年度～2022年度（3年間）
PO	国際領域 主任研究官 林 瑞穂

1 研究の進捗状況等

南米地域における日系商社の穀物等の調達・投資戦略の把握とともに、我が国の穀物を輸入している実需企業の安定的な原料調達に向けた企業動向調査に取り組む。前年度同様に、2021年度においてもコロナ禍により現地調査に制約があるため、文献整理のほか、Web 会議システムや e-mail を活用した聴取を主体に研究を推進した。論文の執筆状況については以下のとおり。なお、2022年3月に開催される日本農業経済学会の2022年度大会において、委託先と共に、特別セッションで報告予定。

① 穀物調達戦略および投資戦略に関する分析

南米に穀物調達のために進出する総合商社の事業戦略について、2021年7月4日開催の日本農業市場学会大会における個別報告として「総合商社のブラジル穀物集荷業参入に伴う事業範囲の規定要因—投資の意思決定に影響を与える企業の情報認識に焦点を当てて—」を発表するほか、同学会誌に論文を投稿、現在二回目の査読プロセス中。

また、ブラジルにおける穀物調達を実施するために理解が必要と考えられる同国の大豆バリューチェーンの現状について、日本農業市場学会の学会誌に「ブラジル大豆バリューチェーンにおける生産者および集荷事業者の主体間関係の動態—大豆生産者の能力向上（Upgrading）がもたらす影響—」というタイトルで論文を投稿し、『農業市場研究』第30巻第3号に掲載予定。

② 日系食用油メーカーの事業戦略や穀物輸入戦略の分析

我が国の穀物を輸入している実需企業である食用油メーカーの動向について、文献整理や、主要植物油メーカーや総合商社から聴取を行い実態把握に努める。「植物油製造業を取り巻く環境の変化と競争優位の獲得」というタイトルで食料・農業・農村経済学会の学術誌に投稿予定。

<論文(査読あり)>

林 瑞穂・八木 浩平(2021)「全国農業協同組合連合会(JA 全農)の油糧種子・穀物調達に係る輸入戦略—ブラジルにおける事業展開を事例に—」『農業市場研究』第 29 巻第 4 号

林 瑞穂・八木 浩平(近刊予定)「ブラジル大豆バリューチェーンにおける生産者および集荷事業者の主体間関係の動態—大豆生産者の能力向上(Upgrading)がもたらす影響—」『農業市場研究』第 30 巻第 3 号

<論文(査読なし)>

林 瑞穂・下保 暢彦(2021)「パラグアイにおける農牧業の概況—大豆産業を中心に—」『ラテンアメリカ時報』No.1435 ラテンアメリカ協会

<投稿中・予定の論文(査読あり)>

林 瑞穂・八木 浩平「総合商社のブラジル穀物集荷業参入に伴う事業範囲の規定要因—投資の意思決定に影響を与える企業の情報認識に焦点を当てて—」『農業市場研究』

八木 浩平・林 瑞穂「植物油製造業を取り巻く環境の変化と競争優位の獲得戦略経営論の考え方に沿って」『農村研究』

<日本農業経済学会 2022 年度大会報告予定>

報告タイトル:

『穀物需給の逼迫と日本の穀物バリューチェーンにおける垂直的連鎖』

林 瑞穂・八木 浩平・佐野 友紀

「ブラジル穀物バリューチェーンにおける総合商社の事業戦略」

八木 浩平

「植物油製造業を取り巻く環境変化と競争優位の獲得:戦略経営論の考え方に沿って」